

新年のご挨拶



自衛隊愛媛地方協力本部長
一等陸佐 大関 雅宏



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、平成二十九年の新春を穏やかに迎えることとお喜び申し上げます。また、皆様からは昨年一年間、様々な面から愛媛地方協力本部に対し暖かく多大なご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、わが国を取り巻く安全保障環境は、一層厳しさを増し、アジア太平洋地域でも国際社会全体でも、平和や安全、繁栄を脅かす様々な事態が生起し、課題や不安要因がより顕在化・先鋭化され一層厳しさを増しています。このような中、国内では、平和安全法制関連2法が平成27年9月に成立し、平成28年3月に施行されました。また、昨年は、各地で発生した自然災害への災害派遣等があり、我々、防衛省・自衛隊は日本の平和と安全、国民の安全を守るため、あらゆる面で更に努力を重ねる必要があります。

自衛隊愛媛地方協力本部としては、今年も引き続き、優秀な人材の獲得、退職後も充実した生活を過ごすための就職援助、常備自衛官を補充し得る予備自衛官等の確保、そして皆様と防衛省・自衛隊をつなぐ架け橋として防衛基盤の更なる強化のために取り組んで参ります。

愛媛地方協力本部は、昨年、創立60周年を迎えることができました。これも偏に皆様方のご支援ご協力と自衛隊愛媛地方協力本部で勤務された緒先輩方の努力の賜物と存じます。これから70周年に向け、これまでの良き伝統を継承させるため「愛媛地本一丸」となって邁進していく所存です。引き続き皆様には、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

愛媛地本、年男・年女の抱負

プライベートの充実

新居浜出張所広報官
三等陸曹 越智 周次



広報官になって3年目の年となりました。

最初の1年目は趣味である釣りに行く機会が月に1回ほどに激減してしまいました。今思えば環境が変わり、精神的に余裕がなかったのだと思います。昨年は少し余裕ができ、時期が来れば週6回ほど釣りに行くことができました。プライベートを充実させてこそ良い仕事ができると思っていますので、各種目の入隊目標達成に向けて頑張っていきたいと思います。

心機一転

援護課援護課長
事務官 猪股 正志

早いもので4回目の年男を迎えることとなりました。これまでの勤務では装備品(物)と数字(金)ばかりに意識を取られておりましたが、愛媛地本での勤務を通じて、「人」や「広報」など今までとは異なる視点を意識するようになりました。定年まであと1サイクル(12年)ありますので、今年には心機一転、新しく培った視点を生かして微力ながらも防衛省・自衛隊に貢献していきたいと思えます。

初志貫徹

募集課広報係
三等陸曹 関家 紋子



自衛隊生活も折り返し地点を迎え、業務はもろろん結婚、出産、育児休業を経て色々な経験をさせていただきました。昨年仕事復帰し、自衛隊生活の後半戦を新たな環境(地本)でスタートさせていただけただけにと大変感謝しております。

今年は働けることの喜びを力に変えて、「初志貫徹」の精神で自分らしく広報業務に貢献できるように頑張ります。明るく楽しく業務に西(取り)組み、地本業務のノウハウを西(取り)込み、未来の国防を担う若者をたくさん西(取り)込める良い年にしたいと思います。

飛躍の年

松山募集案内所広報官
一等空曹 山村 洋一



皆様あけましておめでとうございます。どうぞ今年もよろしくお願いたします。

自衛隊に入隊してから早いもので2回目の年男となりました。今年、広報官としても3年目の節目でもあり、西年にふさわしい飛躍の年とできるよう精進したいと思います。

積極的に行動

今治地域事務所広報官
陸曹長 石川 勝浩



新年おめでとうございます。

2017年を迎え、自衛隊勤務も駅伝で言うところ、4区から棒をもらいうけたような年であり、仕事もアンカーとして前に見える背中を必ず捕えて1人でも多く抜き去れるような年に出るよう頑張ります。

また今年には酉年であり、鶏は朝1番に鳴くように、私も新年1番から適齢者を(とり)込めるように積極的に行動していきたいと思えます。本年もよろしくお願いたします。

スッキリした生活

総務課総務係
期間業務係員 成岡 美佳



あけましておめでとうございます。

今年の抱負は、スッキリした生活です。

近頃は同じ日々の繰り返しですが、そうした中で年々増える一方の、体についた脂肪をスッキリ、なんとなく増えてしまった部屋の不用品をスッキリ、やりたいとは考えつつだからだと先延ばしにしてきたことに、今年はずきんと向き合い、清々しい気持ちで毎日過ごしたいと思います。



愛媛地本一丸

募集課募集係
地本ゆるキャラ コマツピ

皆が幸せに暮らせるように夜間のパトロールも頑張ります。

愛媛地本一丸となって目標達成させる絶対鳥(調)な年にしたいと思います。

「協力団体、武装障害走に大声援」

10月24日国分台演習場（香川県坂出市）において実施された平成28年度第14旅団武装障害走競技会を応援する愛媛県自衛隊協力団体関係者の輸送及び案内等の支援を実施しました。



声援を送る協力団体のの方々

参加者は、秋晴れの国分台演習場内競技会コースを徒歩で移動しながら選手達を応援し、特に愛媛県所在部隊の選手が通過すると大きな声援を送っていました。武装して8箇所の過酷な障害を克服しつつ、4.59km（シコク）のコースを懸命に走破する隊員の姿に「声を掛け合いながら懸命に走る姿に感動した。」「最後まで頑張れるのは、普段からしっかりと訓練しているからなのだろう。」との声が寄せられました。

今後も自衛隊協力団体への各種支援を実施して、自衛隊に対するより一層のご理解をいただき、じ後の連携強化を図ってまいります。

（総務課 後藤）

即自雇用企業主部隊研修及び就職支援広報

10月5日から7日の3日間、陸上自衛隊那覇駐屯地、海上自衛隊那覇航空基地及び航空自衛隊那覇基地の支援を受け、5社5名の企業主等を招へいして即自雇用企業主部隊研修及び就職支援広報を実施しました。

一日目は、海上自衛隊那覇航空基地にて研修を実施、第5航空隊において固定翼哨戒機P-3Cを見学するとともに、実際の搭乗員から直接、現場の状況について説明を聞き、国内外の監視警戒に対する重要性を認識しました。

二日目の陸上自衛隊那覇駐屯地では、第15旅団の支援を受け、戦史模型による沖繩戦の説明、不発弾処理に関する説明、併せて、連絡偵察機LR-2、多用途ヘリコプターUH-60JA及び輸送ヘリコプターCH-47JAの研修を実施しました。沖繩戦や不発弾処理に関する説明では、戦争の悲惨さや、今も沖繩に残る傷跡について学ぶとともに二度と戦争をしてはならないという気持ちを新たにしました。また、航空機の研修では、ふだん身近で見ることのできない多様な機種について外観だけでなく、機内に搭乗するなど貴重な見学をすることができました。

三日目の航空自衛隊那覇基地においては、南西航空混成団司令部の支援を受け、概況説明及びF-15J戦闘機やE-2C早期警戒機

の研修を実施しました。戦闘機に関する研修では、最前線のパイロットから、現場の緊張感が伝わる説明を受け、スクランブルの現状を垣間見ることができました。本研修を通じ企業主の皆様は、日本を取り巻く環境の厳しさと国防の重要性を再認識するとともに、貴重な体験ができたと同様に感銘を受けていた様子でした。

今後も援護協力企業等に対し、予備自衛官等制度や退職自衛官雇用への理解を深めてもらうため、各種施策を講じてまいります。

（援護課 岩佐）



P-3Cの前で記念撮影

砕氷艦「しらせ」の特別公開

10月1日海上自衛隊呉基地で行われた砕氷艦「しらせ」の特別公開を支援しました。

「しらせ」は、文部科学省国立極地研究所の南極地域観測隊の輸送・研究任務のために建造された南極観測船（海上自衛隊において、砕氷艦で、艦の管理や航行は海上自衛隊により行われています。当日は、その日本唯一の南極観測船「しらせ」を一目見ようと希望してくれた愛媛県内の高校生及び教諭と共に、呉基地へと向かいました。片道4時間、参加者は「しらせ」を早く見たいという待ち遠しい気持ちを持ち、しまなみ海道から見える瀬戸内の島々やきれいな景色を眺めながら落ち着かせている様子でした。

また、「しらせ」航海長白方2佐が愛媛県出身という点にもあり、航海長からも参加者に艦内の説明をしてもらえました。この日は、白方2佐への愛媛県放送局の取材も行われ、白方2佐が参加者に説明している様子がカメラにおさめられ、そして説明を受けた高校生もインタビューを受けました。インタビューに答えた高校生は、説明をしてくれた白方2佐への感謝の言葉、船の感想、自衛隊に対する興味関心等をやや高揚しながら話していました。

今後も自衛隊に関する理解を深めてもらう機会を積極的に作り、自衛隊、そして海上自衛隊への入隊希望者を増やしたいと思います。

（募集課 中山）



砕氷艦「しらせ」

松山大学大学祭に参加

11月19日松山大学祭「熟田津祭」において装備品展示を実施しました。

当日は松山駐屯地の支援を受け指揮通信車、オートバイ（偵察用）を展示した他、愛媛地本として1・2メートルトラック、戦闘糧食、南極の水を展示し、また制服試着コーナー等も設けました。

ブースには車両、制服等に興味を持つ学生が集まり、皆、制服を着てオートバイや車両とともに記念撮影を楽しんでいました。

また、松山大学の学生だけでなく学園祭を楽しみに訪れた親子、近隣の大学、高校、中学校の学生も多く訪れ自衛隊の訓練の様子や南極の氷の説明を聞いて自衛隊の活動内容に関心を持った様子でした。

今後も、大学祭や地域のイベントに積極的に参加協力し自衛隊のPRをしてまいります。

（募集課 中山）



熱心に話を聞く学生

イベント情報

時期	行事名	内容
1月15日(日)	防災フェスティバル	装備品展示、広報ブース等
	場所：今治市しまなみアースランド	
1月22日(日)	東城専門学校学校祭	装備品展示、広報ブース等
	場所：新居浜市松原町	
1月29日(日)	津島しらうお&産業祭	装備品展示等
	場所：宇和島市津島町岩松	
3月4日(土)	大原お仕事フェスタ	広報ブース
	場所：アイテム愛媛	
3月5日(日)	入隊・入校激励会	平成28年度入隊・入校者の激励
	場所：ひめぎんホール(サブホール)	

募集情報

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日
自衛官候補生	18歳以上27歳未満	男子	12月16日 ～ 2月8日
		女子	12月16日 ～ 1月11日
高等工科学校生徒	推薦	17歳未満の男子かつ学校長の推薦が必要	11月1日 ～ 12月2日
	一般	17歳未満の男子(中卒見込)	11月1日 ～ 1月6日



めでタイッチ!

昇任

1等陸曹へ
援護課 援護係

2等陸曹 宮崎 玄光
(以上1月1日付)

転入

第2高射群 整備補給隊(芦屋)から
大洲地域事務所 広報官へ
空曹長 川口 洋一
(以上12月16日付)

人事